

—設備保全の情報共有・交流会—

北海道地区モノづくり・保全研究会

<https://info-jipm.jp/f/hokkaido/>

のごあんない

設備保全は、
“壊れた部品を交換するだけ”ではありません！
設備をいつでもロスなく稼働させることが本来の役割。

でも、自社だけでは行き詰ってしまうことも。。。
困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、
ぜひ、本研究会で一緒に解決してみませんか！！



2025年度 第1回 開催概要

日 時	2025年7月24日(木) 13時45分～ ※ 受付開始は、13時15分より開始します ※ 終了時間は、17時00分を予定しています
場 所	トヨタ自動車北海道 株式会社 北海道苫小牧市字勇払145-1 (https://www.tmh.co.jp/profile/#nearby-information) ※ 集合場所は、現地集合です。駐車スペースをご用意いたします ※ 参加者には、詳細を別途ご案内いたします
内 容	・ トヨタ自動車北海道 株式会社 の改善活動と人財育成 工場見学（一般コース）と、ものづくり道場見学（からくり中心に安全危険体感コーナー含む） ・ 見学後の質疑応答、ディスカッション ※ 見学の際は、保護具（帽子、メガネ、安全靴）の着用が必要です。ご持参ください ※ 見学内容は現時点での予定であり、変更の場合がございます
申 込 方 法	メールでのお申し込み受付 となります。（ FUKYU@iipm.or.jp まで） ※ 1社につき1名まで のお申込み（先着順）となります （参加お申込み期日：2025年6月30日。定員到達次第、募集終了となります） （お申込み人数が定員に達しない場合は、追加募集をご案内します） ※ 同業種の方のご参加など、参加をお断りする場合がございます。 あらかじめご了承ください ※ メール送付の際は、下記内容をご入力ください ・ 件 名 : 北海道地区モノづくり保全研究会の申込み ・ 本 文 : 1. 貴社窓口ご担当者様情報 （貴社名、所属、役職、お名前、お電話番号） ※ 上記のメール返信にて、参加者様の情報を入力いただく指定様式をお送りさせていただきます。
年 会 費	・ 一般社団法人北海道機械工業会 会員価格：無料 ・ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会員価格：無料 ・ 一般価格（上記以外）：¥33,000-/名



北海道地区モノづくり・保全研究会ってなに？

前回の研究会活動レポート

テ ー マ	2023年度第1回 北海道地区モノづくり・保全研究会 ～北海道住電精密株式会社様における改善活動と保全人材教育～
開 催 日	2023年10月24日（火）
開 催 場 所	北海道住電精密株式会社（北海道空知郡奈井江町）
プログラム	12：40～13：00 現地集合 会場 13：00～13：05 開会 13：05～16：00 会社概況説明・活動紹介・工場見学 16：00～16：10 閉会
参 加 者	北海道地区モノづくり・保全研究会 会員：13名（10社）



開催報告

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行後初の開催となる本研究会は、北海道住電精密さんの全面協力のもと、久々に集まっていたの会合となった。
- 今回は、三現主義（現場・現物・現実）のもと、他社の具体的な事例から“気づき”の大切さを再認識いただく機会となればと考え、工場見学会を含めた企画を北海道住電精密さんへご相談し、実現するに至った。
北海道住電精密さんのご協力に改めて感謝申し上げます。
- 研究会では、北海道住電精密さんの会社概要・事業説明にはじまり、改善活動や人材育成の取り組みについてご紹介いただいた。
- 改善活動について、活動の質・継続性・件数の停滞など悩みをもっている参加企業からは、北海道住電精密さんの改善事例のエントリー方法の仕組みや、インセンティブを与えながら啓蒙する仕組みが大変参考となったとの意見をいただいた。
- 続いて、工場見学となったが、まず驚いたことは、粉体を取り扱っているのに、職場の床面が非常にきれいな点だ。それは、“安全”に次いで、“環境”を大切にしている姿勢の現れである。切粉発生時のメカニズムをしっかりと分析し、対策を施された証と言える。
- そのほかにも、工場内のレイアウトや設備の配置、地中熱エネルギーの活用など、三現主義からくる“気づき”が多くある工場見学であった。

- その後、保全活動の体制や取り組みをご紹介いただいた。保全員の人数は少ないものの、製造部門の保全力向上の取り組みとして組織として実行していくことで、効率性や確実性を伴う取り組みとなっていた。
- ディスカッションでは、質問や感想などを会員企業同士で話し合い、閉会時間までであったという間の時間であった。（参加企業の要望により次回の研究会でも、今回の研究会での質疑応答の時間を設ける予定）
- 参加者の開催後アンケートを拝見しても、今回の研究会は開催目的であった、“気づき”の大切さを再認識いただいた企画であった。次回以降の研究会でも、参加者の方々が“気づき”を多く得ていただく企画を検討していきたい。



「設備保全」の業務は、「設備をいつでもロスなく稼働させる」ことが本来の役割。その実現には、故障をはじめとしたロスの原因を見つけて、未然に対策を行なうことが重要です。しかしながら、自社で得た知見だけでは、なかなか対策が難しい場合も。。

北海道機械工業会 と 日本プラントメンテナンス協会では、北海道地域の各社様の情報交換、情報共有の場をご提供することを目的に、2022年度から「北海道地区モノづくり・保全研究会」を開催しております。

日頃の困りごとの解決や、他社の取り組み事例を知りたい方は、この機会にぜひご参加いただき、参考となる情報を自社で活かしてみませんか？（当会会員企業の方は参加無料ですので、お気軽にご参加ください）



研究会概要

活 動 内 容	● 設備管理・保全に関する情報交換ならびに相互研鑽 ● 設備管理、保全、モノづくり全般について先進企業の取り組み紹介 ● メンバー企業の工場見学 など
参 加 対 象	● 設備保全、設備管理全般の管理者およびご担当の方 ● 人材教育の企画、実施のご担当の方
開 催 頻 度	● 2回/年を予定（2025年度）